

シラバス（授業計画）

学科名	動物看護科					コース名	動物看護コース		
科目名	外科動物看護学実習					必修・選択必修の別			必修
実施期	1年	前期	-	時間	後期	-	時間	授業時間数合計 ※授業50分を1時間とする。	84 時間
	2年	前期	-	時間	後期	-	時間		
	3年	前期	39	時間	後期	45	時間		
担当講師	西村 壽								
	実務経験	有	動物病院開業の経験を活かし、また外科医としての技術・知識をもとに学生に指導することができる。						
授業概要	術前の準備や手術補助、術前・術後管理、麻酔法を学ぶ。 その他、今まで学んできたレントゲン検査や心電図検査など復習を行う。							授業形式	実習
到達目標	動物看護師として、実際の手術に関わることで実践力を養う。3年間の実習で学んできた検査やその検査手順などを復習し、動物病院に就職した際に即戦力になれる動物看護師を目指す。								
教科書・教材・服装等	『動物看護実習テキスト』、授業内配布プリント								
授業計画時間数	授業内容								
1～3	今までの復習で、通常の検査実習を行う。皮下注射の練習を行う。								
4～6	手術実習のオリエンテーションを行う。実際に手術を見学し、次の歯石除去の準備をする。								
10～12 13～15	麻酔下の動物の管理法と歯石除去法を学ぶ。/手術器具、各種滅菌法、術野消毒を学ぶ。								
16～18 19～21	縫合糸について学ぶ。手術補助の手技を身につける。/手術における手洗い法とグローブ装着・リネン準備について学ぶ。								
22～24	犬の去勢手術実習を行う。								
25～27	犬避妊手術実習に向けたカンファレンス・術前準備を行う。								
28～30 31～33	犬の避妊手術/血管確保、皮下輸液や静脈内輸液の準備や補助、管理法を身につける。								
34～36 37～39	小動物の扱いを練習する。/レントゲン検査における股関節撮影の保定を身につける。								
40～42 43～45	超音波検査の風習を行う。/輸血における検査（クロスマッチ・血液型判定）の検査意義を学び、手技を身につける。								
46～48 49～51	麻酔下の動物の管理法と歯石除去法を学ぶ。/動物看護過程のアセスメント（SOAP）を考え実践する。								
52～54	猫避妊・去勢手術実習に向けたカンファレンス・術前準備を行う。								
55～57 58～60	猫の避妊・去勢手術/薬局業務の復習を行う。								
61～63	犬の避妊・去勢手術実習に向けたカンファレンス・術前準備を行う。								
64～66 67～69	犬の避妊・去勢手術/犬の入院管理・給餌方法について学ぶ。								
70～72 73～75	猫のレントゲン撮影における保定技術を習得する。/採血練習・強制給餌練習・補液練習を行う。								
76～78 79～81	小動物実習を行う。/実技試験を行う。								
82～84	実習の総復習を行う。								
成績評価方法	・出席率					定期試験		筆記試験	
	・定期試験や小テスト						○	実技試験	
	・平常点（提出物・授業参加意欲など）							実施しない	
成績評価基準	A評価	出席率90%以上・実技試験・小テスト80点以上・平常点 優れている							
	B評価	出席率80%以上・実技試験・小テスト70点以上・平常点 普通							
	C評価	出席率80%以上・実技試験・小テスト60点以上・平常点 やや劣る							
	F評価	C評価の基準を満たしていない場合							